

令和4年度 学校評価書 (計画段階・実施段階)

32

福岡県立水産高等学校

自己評価 学校運営計画(4月)
学校運営方針
昨年度の成果と課題
(成果)昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、産業教育フェアや地域交流イベント等で本校の魅力を十分にアピールすることができなかった。本校の特色を象徴する水高祭は一般の来場はできなかったが開催することができた。基礎学力定着のための「朝学習」を継続的に実施することで、希望進路実現を達成することができた。様々な地域交流が中止される中、三校合同の中学生対象の説明会を開催し、本校の特色化・活性化をアピールすることができた。
(課題)昨年度の学校行事、地域交流など、本校の特色ある教育活動をコロナ渦の中において再開することが課題である。「いじめは絶対に許さない」を合い言葉に学校生活アンケートの実施や、いじめのサインを見逃さない教育活動を引き続き展開する。生徒の心の安定をはかり教育力向上を目指す。また、生徒一人一人が安心・安全で「居場所」のある学校生活ができる学校づくりを推進する。基礎学力の向上のために毎日15分間の「朝学習」において、きめ細かな指導を粘り強く行い、生徒一人一人の進路を実現する。「海に学び 食に学ぶ 水高」のスローガンのもと、生徒一人一人が輝く船舶職員、水産、海洋関連業界、食品関連業界などへの人材を育成する。

学校関係者評価
自己評価は
A: 適切である
B: 概ね適切である
C: やや適切である
D: 不適切である

評価項目 具体的目標 具体的方策 評価(3月) 次年度の主な課題
教務部 教務課 基礎・基本的な知識や技術の確実な習得 生徒の実態に即した授業展開、定期考査問題を作成し、学力向上を目指す。指導と評価の一体的な改善を行い、生徒の学ぶ意欲を育む。
生徒指導部 生徒指導課 基本的な生活習慣の確立 服装・頭髪検査を月1回定期的に実施し、身だしなみ意識の向上を図る。登下校、授業の開始終了時に、全職員が率先垂範して挨拶を指導する。
進路指導部 進路指導課 進路実現満足度100%の達成 企業訪問を積極的に実施し、ハローワークとも情報を共有する。進学希望者への確実な情報提供と、個別指導の実施。
第1学年 職業人としての基礎的な力をつけさせる 学校生活に合わせた生活習慣を確立させる。2学年時に備え、実習に臨む際の心構えを持たせる。
第2学年 中堅学年の意識を持たせる。 欠席、遅刻、早退の防止に努める。年間10日以内とする。
第3学年 志望と適性に合った進路の実現 7月の三者面談までに希望進路を決定させる。1学期中に面接に向けた基本的な所作を身につけさせる。
最上級生としての自覚の養成 学校行事や資格取得、部活動に積極的に取り組む姿勢を持たせる。学校行事等の活躍の場を大切に、さらに成長できるよう支援を行う。日々の授業や朝学習を大切にし、学び続ける習慣を身につけさせる。

項目ごとの評価 学校関係者評価委員会からの意見

